

令和4年度(2022年度)第2回北海道環境影響評価審議会 開催結果概要

日時：令和4年(2022年)5月23日(月)14:00～

場所：かでの2・7 520 研修室

【委員の出席状況】

委員15名中 10名出席

出席委員：秋山委員、大原委員、押田委員、笠井(美青)委員、北委員、
澁谷委員、白木委員、鈴木委員、先崎委員、露崎会長

【議事内容】

(1) (仮称)石狩湾洋上風力発電所計画段階環境配慮書について

事務局から、配慮書の概要、事業者への1次質問とその事業者回答について説明を行い審議が行われた。

当日の委員の意見を踏まえて、事業者に対して質問をするなどして、引き続き審議を行うこととなった。

(2) (仮称)島牧村沖洋上風力発電事業計画段階環境配慮書について

事務局から、配慮書の概要、事業者への1次質問とその事業者回答について説明を行い審議が行われた。

当日の委員の意見を踏まえて、事業者に対して質問をするなどして、引き続き審議を行うこととなった。

(3) (仮称)新瀬棚臨海風力発電所環境影響評価方法書について

事務局から、事業者への2次質問とその事業者回答、答申文(案)たたき台について説明を行い審議が行われた。

審議の結果、委員の意見を踏まえて答申文案の一部を修正することとなった。修正は会長一任により行われることとされ、後日、会長から知事に答申が行われることとなった。

(4) 幌延風力発電事業更新計画環境影響評価準備書について

事務局から、準備書の概要、意見の概要と事業者の見解、事業者への1次質問とその事業者回答について説明を行い審議が行われた。

当日の委員の意見を踏まえて、事業者に対して質問をするなどして、引き続き審議を行うこととなった。

(5) (仮称)宗谷管内風力発電事業計画段階環境配慮書について

委員と事業者による質疑応答の後、事務局から、事業者への2次質問とその事業者回答、答申文(案)たたき台について説明を行い審議が行われた。

審議の結果、委員の意見を踏まえて答申文案の一部を修正することとなった。修

正は会長一任により行われることとされ、後日、会長から知事に答申が行われることとなった。

(6) (仮称) 留萌北部(沿岸)広域風力発電事業計画段階環境配慮書について

委員と事業者による質疑応答の後、事務局から、事業者への2次質問とその事業者回答、答申文(案)たたき台について説明を行い審議が行われた。

審議の結果、委員の意見を踏まえて答申文案の一部を修正することとなった。修正は会長一任により行われることとされ、後日、会長から知事に答申が行われることとなった。

(7) (仮称) 抜海・豊田風力発電事業計画段階環境配慮書について

委員と事業者による質疑応答の後、事務局から、事業者への2次質問とその事業者回答、答申文(案)たたき台について説明を行い審議が行われた。

審議の結果、委員の意見を踏まえて答申文案の一部を修正することとなった。修正は会長一任により行われることとされ、後日、会長から知事に答申が行われることとなった。